

雷凰頑駄無大將軍

データ

データ	
読み	らいおうがんだむだいしょうぐん
所属	頑駄無軍団総大将
デザイン機体	<u>二代目頑駄無大將軍</u> （SD戦国伝 武者七人衆編）
作品	SDガンダムフォース絵巻 武者烈伝武化舞可編

内容

悪無覇域夢山決戦で「光の力」を覚醒させ、雷凰若將軍となった雷凰が正式に天宮の大將軍となった時の姿。基本的に雷凰若將軍と同じ姿でこれといった差異は無い。烈火頑駄無大將軍の先代で年齢的には頑駄無より若いものの武者烈伝本編の時代には既に一線から引いており、この時代では一部イラストと名称のみの登場で「七人衆と共に戦った大將軍」とは彼の事。

使用武器&支援メカ

■■武化舞可の號刀【ぶかぶかのこうとう】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで號刀が認めた者しか抜く事が出来ないと言う烈火武者頑駄無が烈丸に遺した武化舞可の一つ。当初は真の力を引き出せるのは烈火武者頑駄無だけだったが後に烈丸も抜けるようになった。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺駆頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

■■武化舞可の霸兜【ぶかぶかのほうとう】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで地水火風のあらゆる情報を収集する能力がある武化舞可、疾風剣豪精太から嵐丸に受け継がれた。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺駆頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

■■武化舞可の天翼【ぶかぶかのてんよく】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで心力次第で大竜巻を巻き起こす事も出来る武化舞可、龍神導師仁宇から霧丸に受け継がれた。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺駆頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

■■武化舞可の鉄肩【ぶかぶかのてっけん】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで身に付けた者の腕力をアップすると言う天翔狩人摩亜屈が持っていた武化舞可の一つ。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺駆頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。銀狼之章で邪骸に取り付かれた武者鋭駆主が

二代目摩垂屈（衛有吾）から奪った。拳部分を射出する機能があるが鋭駆主から凄丸に渡った経緯は今のところ不明。

■■武化舞可の俊脚【ぶかぶかのしゅんきやく】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで身に付けると疾風のように動く事が出来る武化舞可、隠密忍者農丸から隠丸に受け継がれた。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺驅頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。因みにクナイ発射機構がある。

■■武化舞可の大砲【ぶかぶかのおおづつ】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで天宮最強の破壊力を持つと言う大砲にして鉄機武者斎胡が持っていた武化舞可の一つ。鉄機武者斎胡亡き後、大砲を回収した剛熱機械師駄舞留精太が息子の雷丸に託した。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺驅頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

■■武化舞可の鎧甲【ぶかぶかのがいこう】

光の七人衆と共に戦った大將軍が纏っていたとてつもない力を秘めた伝説の鎧の一つで絶対の防御力を持つ剛熱機械師駄舞留精太から雷丸に受け継がれた武化舞可の一つ。元々は雷凰頑駄無大將軍の「光の鎧」だったが魔界大戦後に将頑駄無殺驅頭が七つに分割、大將軍の意思と共に光の七人衆に託した。

使用忍術&必殺技

■術名

備考

BB戦士 278 剛熱機械師駄舞留精太説明書&コミックワールド
BB戦士 284 鉄機武者斎胡説明書&コミックワールド

参考資料